

『向島の豊かな自然と生きものたち』

第36回 昆虫の王様

「一番好きな虫はチョウやトンボ」という人も中にはいますが、やはり子ども達にとってはカブトムシ！クワガタムシ！が一番人気!! やっぱり「昆虫の王様!!」

毎年春が来て桜が咲き、あたたかい日が続くと、虫たちが水の中や土の中、枯葉の下、サナギやサナギの中で、今か今かと出番を待っている様子が目に浮かびます。(浮かぶといっても虫たちは土やサナギの中なのですが…)

カブトムシは幼虫で冬越しをし、クワガタムシは成虫で冬越しするものもいます。

南の国では、冬がないので1年中観察できるそうです。

「カブトムシ」も「クワガタムシ」も、夜に活発に動き回りますが、昼でも観察することはできます。

どちらも樹液に集まりますが、樹液には他にも、アリやスズメバチ、チョウ、小さい甲虫なども集まります。時には樹液の周りがにぎやかになり、「オス同士のケンカ」や「スズメバチとケンカするカブトムシ」を見ることもあり、ハラハラドキドキです。

以前、クヌギの樹液にカブトムシのオスが縄張りを張って身構えているのに気がつき、ソロソロりと近づいて見ると、樹の上部から2匹の「ミヤマクワガタのオス」が近づいているじゃーありませんか!!

どーなるんじゃろー??と息を殺して見守っていると、カブトムシはがっしりと足を広げて“一歩も引かないぞ!”と言わんばかりの姿勢を取り、両者にらみあい!!!

そのまま一向に争わず、そのうちミヤマクワガタはゆっくり樹の反対側に回って行ってしまい、この勝負カブトムシの勝ち!!!

この時の興奮は、今も忘れられません。

この夏も、カッコいいカブトムシやクワガタムシに出会えるように、願っています。

現在、海外から多くの種類の虫が輸入され、日本国内で販売されているので、虫好きな人にとっては楽しい虫との触れ合いを体験している方も多くなりましたが、飼育にはきちんと責任を持っていただきたいと思えます。

興味が変わった、かわいそうだから、増えすぎた、などの理由で野外に放したりすることは、絶対しないように願います。